

荒尾市上下水道事業運営審議会 議事録要約版

日時：平成 30 年 11 月 2 日（金）14 時 00 分～15 時 40 分

場所：荒尾市市役所 市長公室

出席委員（敬称略）：

近畿大学 経営学部 教授	浦上 拓也
有明工業高等専門学校 創造工学科 准教授	加藤 浩司
女性ネットワーク荒尾	深浦 淳美
荒尾商工会議所	江崎 光恵
荒尾市食生活改善推進員協議会	田頭 スエカ
荒尾市地区協議会会長会	田中 一大
荒尾市金融団	本田 純也
新日本有限責任監査法人	西 秀雄

欠席委員（敬称略）：荒尾市総務部長 石川 陽一

配布資料：資料－1 荒尾市下水道事業の概要
資料－2 荒尾市水道事業会計決算の状況
資料－3 荒尾市下水道事業会計決算の状況

1. 開会

（事務局）これより荒尾市上下水道事業運営審議会を開会します。

石川委員におかれましては所用により欠席されましたが、出席委員数が過半数となっておりますので、会議成立とさせていただきます。

2. 議題

(1) 荒尾市水道ビジョンについて

（会長）荒尾市水道ビジョンに関する議題について、事務局より説明をお願いします。

・表紙デザイン

（事務局）本日は水道ビジョンの表紙デザインを担当して頂きました荒尾市ご出身の有明工業高等専門学校専攻科の竹村様にお越しいただいていますのでご紹介致します。

・今後の活用案

（事務局）水道ビジョンの啓発用としまして、リーフレットも併せて作成しております。

今後の水道ビジョンの活用については、事務局としましては、委員の皆様のご所属団体へのご説明や調整がつけば浦上会長のご講演の実施を考えていますが、委員の皆様のご意見を伺え

ればと思います。

(委員) 出前講座などで所属団体にご説明頂ければと思いますが、説明の所要時間はどのくらいを予定されていますでしょうか。

(事務局) 所属団体のご要望に応じまして対応させていただきます。

(委員) 会長のご講演となった場合はどのような形で行われますでしょうか。

(事務局) 企業局が主催となりまして、所属団体の方にお声掛けさせて頂くことを考えております。

(委員) 新水道ビジョンはどのように公表される予定でしょうか。利用者の方に広く知って頂くことができないでしょうか。

(事務局) 現状では企業局のホームページで公表することを予定しておりますが、地区協議会などで水道ビジョンの公表を直接伝えさせて頂くことも検討します。

(委員) 小学校などでご説明されてはどうでしょうか。

(委員) 地域のイベントなどでうちわなどを配布することも考えてはどうでしょうか。

(事務局) ご意見ありがとうございます。利用者の方に広く水道事業の現状を知って頂く工夫を検討して参ります。

(2) 荒尾市下水道事業の概要について

(会長) 荒尾市下水道事業の概要について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 今回、水道事業はビジョンの策定により一区切りが付きましたので、今後は下水道事業についても審議頂ければと考えております。荒尾市の下水道事業につきましては、現在、国土交通省により中小規模の自治体における「下水道事業の持続可能性向上に向けた検討事業」をテーマとしたFS（フィジビリティスタディ：実現可能性調査）が荒尾市をモデル地区として行われています。今後、こちらで検証された結果を踏まえて、荒尾市下水道事業の方向性などを決定していく際に、委員の方のご意見をお伺いできればと考えております。それでは荒尾市下水道事業の概要についてご説明させていただきます。

(事務局) <資料-1 荒尾市下水道事業の概要の説明>

(会長) 市民は下水道に接続する義務がありますが、まだ約 10%の方が浄化槽または汲み取り式となっております。これは水洗化する場合において、1件あたり約 50 万円の負担になることがネック

となっております。未整備地区については、今後下水道が整備されていきますが、市民の方に下水道へ接続して頂かないと、水洗化率が伸びず、下水道料金が回収できないという課題があります。災害復旧の場合も下水道が復旧しないと水道も復旧できません。水道を使うためには下水道が使えることが必要ということもご理解頂ければと思います。

委員の皆様のご意見をお伺いできればと思います。

(委員) 併設雨水ポンプ場について、建設費が提示されていないのはどのような理由でしょうか。

(事務局) 併設雨水ポンプ場の建設費については、大島浄化センターの建設費に含まれています。

(委員) 下水道の整備状況は計画どおりでしょうか。

(事務局) 下水道のアクションプランでは現在の整備区域を今後 10 年で設備する予定となっており、計画通りに整備を続けています。

(3) 平成 29 年度荒尾市上・下水道事業決算報告について

(会長) 平成 29 年度荒尾市上下水道事業決算報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) <資料-2 荒尾市水道事業会計決算の状況の説明>

<資料-3 荒尾市下水道事業会計決算の状況の説明>

(会長) 以上の報告について、委員の皆様のご意見をお伺いできればと思います。

(委員) 下水道事業の資本的収支について、一時借入するケースはありますか。

(事務局) 平成 26 年度から下水道事業も公営企業会計を採用しましたが、一時的に資金が不足したため、水道事業から一時借受けを行いました。平成 29 年度からは一時借受けを行っておりません。

(委員) 行政区域内人口と年度末給水人口の違いを教えてください。

(事務局) 行政区域内人口は荒尾市の人口です。年度末給水人口は井戸など水道を利用されていない方の人口を除いた水道を利用している方の人口になります。

(委員) 水道事業に比べて下水道事業の方が借入が多く、経費などに対して利息の額が多い印象です。財務的な観点からみても今後、下水道についても検討していかねばならないと考えます。

(会長) 下水道事業の企業債残高はどのくらい残っている状況でしょうか。

(事務局) 下水道事業の企業債残高は74億円を切る程度で、水道事業は41億円程度です。固定資産の額は下水道事業が約147億円で水道事業が約84億円となっており、下水道事業が倍近くとなっており、過去の投資が大きかったことを示しています。

(会長) 下水道事業の有収水量が増えているのはどのような要因でしょうか。

(事務局) 下水道事業はまだ拡大整備を続けているので、有収水量が増加しています。

(会長) 下水道事業、水道事業ともに更新投資が増えていきますが、修繕を更新に切り替えていくタイミングはアセットマネジメント策定後でしょうか。

(事務局) 水道事業はアセットマネジメント策定後に切り替わっていきます。下水道事業も同様に考えています。

(会長) 補助金について、他会計補助金と一般会計補助金などありますが、どのような違いがありますでしょうか。

(事務局) 水道事業は消火栓について他部局からの一般会計からの繰り入れがあります。下水道事業は3条収支にも一般会計からの繰り入れがあるなど、科目によって呼び方を変えています。

(委員) 下水道事業について、総務省の定める基準から外れるものはありますか。

(事務局) 一部考え方の違いがあり、基準外となってしまったものがあります。

(会長) 下水道のアクションプランは公表されていますでしょうか。

(事務局) 熊本県のホームページに公表されています。次回、ご提示することも検討します。

3. 事務連絡

・今後の事務局運営について

(事務局) 今後は下水道事業に重点をおいて審議頂ければと考えています。このため、下水道施設の見学会を次回の審議会に合わせて行うことを予定しております。また、水道ビジョンの活用については委員の皆様へ個別にご相談させていただきます。次回は2月上旬を目途に実施させていただきます。

(委員) 異議ありません。

以上